

施設名称	〔39〕 東京都台東区立台東児童館					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ(平成23年末まで13こどもクラブ)					
(3)経営状況	(25年度決算ベース)〔社会福祉事業会計〕 収入2,763,451,917円, 支出2,624,027,474円, 収支差額139,424,443円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区台東1-11-5					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日(第三日曜日を除く)：午前9：30～午後6：00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日は開放)					
(5)規模	RC5階建て 3階 遊戯室・図書室・図工室・こどもクラブ室等 台東保育園併設					
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員4名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない。					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	32,052,000	31,325,000	31,823,000	33,633,000	32,009,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	32,052,000	31,325,000	31,823,000	33,633,000	32,009,000
決算	委託料	29,722,630	29,794,042	31,656,518	31,887,180	31,848,765
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	17,000	305,108
	管理経費	29,722,630	29,794,042	31,656,518	31,904,180	32,153,873
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	
開館日数	日	334	335	332	333	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
利用者数	人	14,500	12,945	15,068	13,614	

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み

大規模改修により新たに整備された多目的室を活用し、幼稚園児を含めた乳幼児親子の利用拡大に繋がった。
竹町地区、浅草橋地区の関係機関との連携を深めるとともに、青少年委員や幼稚園との連携を広げた。
民生委員児童委員協議会との共催により、25年度新たに7館合同の下町こどもまつりを実施した。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。
 2：協定等の水準どおりである。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。
 0：協定等の水準を下回っている。
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目									
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(b)サービス水準 [2]	(c)職員配置 [2]	(d)職員研修 [2]	(e)案内・接遇 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(g)自主事業の成果 [-]	(h)個人情報保護 [2]	(i)緊急時対応 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(b)備品の管理 [2]	(c)清掃・衛生管理 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]		
(3)利用者の満足度 平均 [2.4]	(a)利用者・第三者機関の評価 [3]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(c)利用者数の目標達成 [2]		(d)利用しやすい環境整備 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [3]				
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]			(c)収支計画の達成 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]				

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	24年度の耐震改修工事仮移転期間に築いた浅草橋地域の利用者との関係を継続し、毎月の行事や大型行事への参加に繋がった。また、行事だけでなく、日常来館でも楽しく利用できるよう配慮した運営を心がけた。
(2)施設の維持管理	A	乳幼児親子の利用が増えたため、衛生面に配慮し、遊具の消毒や片付けに努めている。快適に利用できるよう、改修後の綺麗で清潔な施設環境を維持している。
(3)利用者の満足度	S	遊具の配置や常時使える教材を用意するなどの工夫により、利用者アンケートでは「児童館が楽しい」と満足度が高い。竹町地区、浅草橋地区の関係機関との連携に加えて、青少年委員や幼稚園との連携を広げた。
(4)収入支出	A	リサイクルを推進し、消耗品の一括購入、長期契約などの経費節減、事務の効率化を図った。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	竹町地区、浅草橋地区の関係機関との連携に加えて、青少年委員や幼稚園との連携を広げた。幼稚園児を含めた乳幼児親子向けプログラムや中高生タイムにも積極的に取り組み、地域の子育て・子育て支援を行っている。
-----------	---

11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応

- ・児童館への高い満足度を維持するため、さらに利用者とのコミュニケーションを大切にして信頼関係づくりに努める。
- ・子どもを中心として地域の人々が集う児童館をさらに目指し、職員全体で児童健全育成事業に取り組む。